

奈良県議会議員 無所属 御所市選出

信じられる未来へ
~ believe in future ~

かわぐち しん 川口 信



日頃より私の活動に対し温かいご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年12月8日の県議会本会議にて、3回目の一般質問を行いました。その内容をまとめましたので、ご報告させていただきます。今後とも奈良県政発展のために邁進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

川口 信



2025年12月定例議会 本議会

以下の内容で一般質問しました。

(12月8日 登壇)

質問 1

(仮称)医大新駅周辺のまちづくり

質問 2

県有未利用資産の早期活用

質問 3

部活動の地域移行

質問 4

県民における特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の対策

要望

京奈和自動車道の整備促進

動画視聴はこちらから▶



質問 1

(仮称)医大新駅周辺のまちづくり

川口 医大新駅周辺は、医療・研究・交通を結び、新県立アリーナの整備も進む奈良県の重要拠点であり、特に新駅周辺は、多くの人々が利用する複合動線エリアのため、交通アクセスの総合的な設計が求められる。

知事からは、10月3日の質疑で「新たな駐車場整備は検討しない」と答弁があったが、11月4日の会見では新駅東側へPFI事業(※)対象エリアの拡大が発表された。この1ヶ月という短期間で方針が変更となった経緯と、今後の取り組みについて伺いたい。

※PFI事業：公共施設の整備・運営に 民間の資金とノウハウを活用する仕組み

山下知事 10月2日に橿原市長から、新駅東側含めた一体的なまちづくりの実施について相談を受けた。この中で新駅の南東に位置する四条東池を、市が取得する方針が初めて示された。その後検討を進め、新駅東西で民間活力を導入した一体的な事業化の可能性を確認した。

民間活力の導入により利用者の利便性や快適性の向上に資する提案を取り入れることで、学術・にぎわい・医療・健康が一体となった拠点となり、また駐車場の一体的な整備運用により、交通渋滞などへの対応にも繋がるものと考えている。

これらを踏まえ、11月4日に新駅周辺の一体的なまちづくりを進めることを決定した。今後は地域にとって魅力的な提案を事業者から得られるよう、県と市が連携して新駅周辺のまちづくりに取り組んでまいらる。

川口 以前から、橿原市議会及び奈良県議会では周辺の交通渋滞や駐車場の課題は上がっていたが、なぜこれまで取り組んでこなかったのか。また、新たにPFI事業の対象エリアを拡大することで、さらなる交通渋滞のリスクが考えられるため、従前の計画以上の対策に取り組むべきではないか。

山下知事 スペースに限りがあり、取り組みは難しいと考えていた。新たなプランになり、現状具体的な内容は決まっていないため、今回の指摘も踏まえて検討を進めたい。



※県の資料を基に作成



プロフィール

1989年2月27日 御所市大字柏原 生まれ
2001年 御所市立披上小学校 卒業
2004年 智辯学園中学校 卒業
2007年 智辯学園高等学校 卒業
2011年 早稲田大学 先進理工学部 卒業

所属

奈良県中小企業連合会 理事
こぶれ21(企業連・中企連若手経営者の会)
一般社団法人 橿原青年会議所(JCI橿原)
一般社団法人 奈良県軟式野球連盟 副会長
ガイドドリンコ杯少年野球大会 会長



各種SNSで情報発信中です



質問2 県有未利用資産の早期活用

川口 奈良県が保有する県有資産は、公共施設の建て替えや再編に伴い、今後さらに余剰地が増加する見込みである。これらの県有資産は、地域活性化や防災、産業誘致などに貢献し得る県の重要な資産であり、2025年4月1日時点で県有の未利用資産として78資産が公表されている。

他県では、事前に民間事業者から活用アイデアや事業性、ニーズを“直接”ヒアリングする「サウンディング」を常時実施する随時受付型の仕組みが整備され、県有資産の活用が進んでいる。県有施設の建て替えや廃止を検討される際には、**早期に将来的な活用方針を議論し、地域との調整を進めることが重要**である。これについて知事の見解を伺いたい。

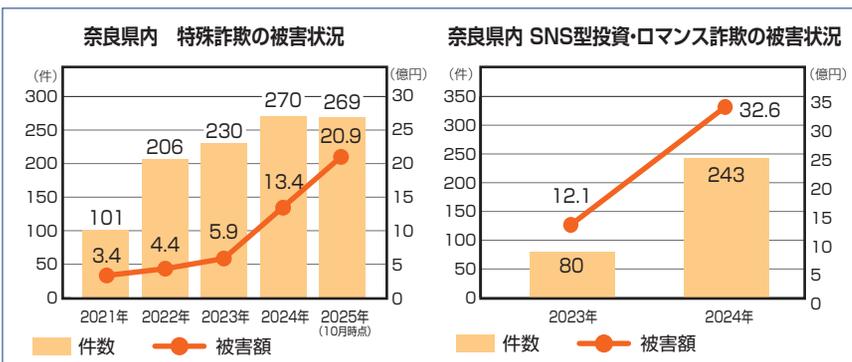
参考: 奈良県HP「県有低・未利用資産の状況について」



山下知事 指摘のとおり、長時間未利用となれば、本来得られるべき利益の損失にもつながるため、早期に有効活用を図ることは重要である。県有施設の移転廃止に伴う跡地については、早期に有効活用を検討することが望ましいと考える一方、アクセス道路の幅員が狭い土地利用の規制が厳しいといった理由から、必ずしも早期の決定ができない案件もある。

川口 随時受付するサウンディングのメリットは、事業性が低い案件も「いつでも民間から県にアイデアを相談できる」ことである。現在奈良県で実施しているものは、職員が直接出向しているため、事業者から提案をいただく機会が少ないと聞いている。導入により県有資産の活用が進む一つの手法だと考えるため、今の取組を拡大していただくという意味でも今後取り組んで頂きたい。

質問4 県民における特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の対策



※奈良県警察本部提供資料を基に作成

川口 近年、奈良県内でも「特殊詐欺」や「SNS型投資詐欺」「ロマンス詐欺」の被害が急増している。特に、SNSを用いた投資の勧誘や、親密さを装い金銭を引き出す手口は、年代・性別を問わず被害が拡大している。そのため、働き世代や若年層を含めたより幅広い啓発が必要と考える。また、若年層の「闇バイト」問題も深刻であり、詐欺を行う側にならない防犯意識と情報リテラシーの向上も必要である。そこで、これら詐欺の被害拡大を防ぐため、県警察本部の取り組みを伺いたい。

宮西警察本部長 県警察では被害の現状・予防策をマスメディアや県警察の安全・安心アプリ「ナポリス」を活用し、県民に広く情報を提供している。特殊詐欺では、携帯電話も狙われ始めたこと、SNSが犯行の舞台になることから、全国警察挙げてSNSによる集中広報を展開している。さらに、県警察では録音した詐欺電話の通話内容の公開などを実施している。また、国際電話の悪用による被害が目立つことから、固定電話による国際電話の利用休止申込みの促進にも力を入れている。

これらの情報発信については、県内の企業団体等と連携して効果的かつ広範囲に行い、金融機関やコンビニエンスストア等と連携した水際対策も推進している。引き続き、関係機関、事業者、県民の皆様と一体となって被害防止に取り組んでまいらる。

質問3 部活動の地域移行

	現在	移行後
【指導者】	各校の教師	部活動指導員、関係校の教師など
【参加者】	各校の生徒	関係校の生徒
【場所】	各校の施設	拠点校の施設
【費用】	用具、交通費などの実費	用具、交通費などの実費
【補償】	災害共済給付	災害共済給付



休日の地域クラブ活動

運営団体実施主体	▶地方公共団体(複数地方公共団体の連携含む) ▶地域スポーツクラブや競技団体、プロチーム、大学など
指導者	▶地域の指導者(指導を希望する教師の兼職兼業など)
参加者	▶休日にも活動を希望する地域の生徒
場所	▶学校施設や公共の体育館、地域団体・民間事業者の施設など
費用	▶会費、用具、交通費などの実費
補償	▶各種保険など

※スポーツ庁 部活動改革ポータルサイト掲載動画を基に作成

川口 奈良県では2026年度から公立中学校における休日の教員による部活動の指導を廃止し、地域クラブ・地域連携へ移行する方針である。

① 中南和地域の課題について

川口 地域移行にあたり、中南和地域では「指導者不足」「移動手段の確保」「受け皿の不足」という三重苦に直面しているため、県としてさらなる支援が不可欠である。この中南和地域特有の課題に対して、県としてどのような支援を考えているのか。

大石教育長 「受け皿の不足」については、県教育委員会で市町村の広域連携が円滑に進むよう支援を行っている。「指導者の人材確保」については、今年5月から県の人材バンクの運用を開始しているが、勤務地が限られておりマッチングが難しい市町村もある。現在、各市町村が必要としている指導者について調査をしており、その結果を踏まえて人材バンクの充実を図る。

② 安全管理について

川口 外部人材の活用や、広域移動による事故リスクがあり、安全管理・自己責任に関する県全体での「統一の安全基準」を設けることは非常に重要である。この奈良県統一ガイドラインに対する考え方を伺いたい。

大石教育長 県教育委員会では、移行の手引の中で、安全管理や事故防止に向けて留意すべきことを示している。

また、国では今月中に新たなガイドラインが策定予定である。その内容を踏まえて、引き続き適切な情報を発信し、各市町村への支援に努める。

川口 住む地域によってスポーツ・文化活動の機会の格差拡大に繋がることはあってはならない。移動距離などの負担も含め、生徒によって格差が出ないように配慮をお願いしたい。

要望 京奈和自動車道の整備促進について

京奈和自動車の本線整備は日々工事を進めていただいております。山下知事にはミッシングリンクの早期解消に向けさらなる整備のスピードアップを図るため、国土交通省に対して力強く要望活動を進めていただいております。

しかし、整備効果を発揮するためにはICや側道整備も非常に重要である。特に御所南ICは、県外からの来訪者を県南部地域へ導くゲートウェイ機能強化や、御所南工業団地の企業誘致の観点からも、御所南ICのフルインターチェンジ化と側道整備が必須である。奈良県から和歌山県に向かう際、休憩できるパーキングエリアは御所南ICだけだが、南行きオンランプがないため、一度下りると御所ICまで戻るか五條北ICまで下道を走る必要があり、これは救命救急や防災にも大きく影響すると考える。

これらのことから、本線以外も順次整備いただくよう、要望を行った。